

<木質資源(廃木材)の種類とリサイクル>

単位:万トン/年(推定)

廃木材の種類	排出量*	再資源化量*	リサイクル内訳*	参考
<b>産業廃棄物</b>	1,000	800		
1.建設発生木材	500	350		・( )は国土交通省の平成17年度建設副産物実態調査結果 「発生量比」 土木工事4:建設工事3:解体工事3
	{471}	(321:68.2%)		
2.製材工場残材等	500	450		・合板・製材工場、プレカット工場、木製品製造工場等の残材 ・木質ボード消費量m <sup>3</sup> ・千人:日本81:アメリカ187:ドイツ136(03) (パーティクルボード:日本12:アメリカ94:ドイツ103)
			木質ボード 250万トン	
<b>一般廃棄物</b>			紙・パルプ 290万トン	・木質燃料利用(70社・万トン年):148(04)、233(05)、354(06)、546(07~) ・RPS法小委員会:バイオマス発電を現状の倍の50億KW計画(07.2.6) (電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法) ・07~12の6年間の間伐目標:330万ha(07.2.23関係閣僚会議で決定)
1.廃パレット・剪定枝等	300	150	敷料・肥料等 110万トン	
			サーマル燃料 350万トン	
<b>その他</b>			計 1,000万トン	
1.林地残材等	400	50		
<b>計</b>	<b>1,700</b>	<b>1,000</b>		<b>1,000/1,700 : 58.8%</b>

\* 排出量・再資源化量・リサイクル内訳は2006.3日本繊維板工業会作成資料を参照

<最近の新たな動き→バイオエタノール>

2007. 1. 16 大阪に廃木材で製造するバイオエタノール工場竣工(バイオエタノールジャパン関西(株):年4. 8万トン廃木材から1, 400klを生産計画)

2007. 2. 22 バイオマス日本総合戦略会議で2030年バイオエタノール等エコ燃料導入目標を600万klと決定